



好学愛知
自律敬愛
質実剛健

鶴丸イ言

私たちが誇れるもの

英語科 川邊 徹

みなさんにとって、鶴丸高校にある様々な景色の中でのようなものが好きだろうか？ 私にとって好きなものの一つが、放課後の教室の様子である。静寂の中、週番活動を終えて整然とした各Rを通りながら、その週の週番の頑張りを感して清々しい気持ちになる。と同時に、「明日も頑張ろう」という気持ちにもさせてくれる。だから、私はこの景色が好きだ。

周知の通り、週番活動は生徒たちが行う主体的活動であり、週番会への出席や授業後の黒板消し、放課後の教室整備など、その活動は多岐にわたる。「創立125周年記念誌」によると、実に50年以上の歴史があるそう。私たちが毎日気持ちよく朝を迎えることができるのも、放課後の週番たちの影なる努力、主体的な環境づくりが大きいのでは、と考えている。

本年度一年生の担任になった時、右も左もわからない新入生に、週番活動についてこれをもっと言語化し、指導するのに苦労した。最初の頃は放課後にひとつひとつ説明しながら一緒に教室整備をしたものである。しかしながら、しばらくすると生徒たちは週番会等で先輩たちの背中を見て、「自分たちの力で試行錯誤しながら改善し始める。そしてこれは、どのクラスにおいても自然とそうようになっていくから驚くべきことだ。」

実は本校に赴任する前、生徒会研修視察として鶴丸高校を訪問し、週番活動について説明を受けたことがある。しかしながら、当時の私も生徒会の生徒たちにとっても正直なところ、さほど印象に残るものとはならなかった。当たり前である。自分たちが実際に体験していないのだから……。週番活動は先輩たちの背中を見ながら、自分たちの手で試行錯誤しながら取り組んでいくものである。その表層を真似しようとしたところで、本質を理解できるはずもない。綿々と続く鶴丸の伝統の重さというものを改めて感じる。

4月の行事予定

月	日	曜	行事等	校時	時間割変更等
4	1	月			
4	2	火			
4	3	水			
4	4	木			
4	5	金			
4	6	土			
4	7	日			
4	8	月	新任式 前期始業式 中掃除 設置(LHR) 21R/22R LHR(223R/24R) 週番会 副委員長会 委員会		
4	9	火	第78回入学式 撤去(12:00~25R/26R)		
4	10	水	対面式 1年全体オリ 2・3年実力考査(1日目) 写真撮影(1・2年) 学校安全の日	2-3年考査	
4	11	木	1年教科オリ 2・3年実力考査(2日目) 部活動紹介 写真撮影(3年)	2-3年考査	
4	12	金	1年教科オリ・全体オリ・新入生テスト(数) 学校案内 週番引継会		7限カット
4	13	土			
4	14	日			
4	15	月	定期教育相談(～5/1) 教育相談① 全校朝会① 胸牌レントゲン(1年・職員:午後) 身体検査(～4/23)	5分遅 45分	
4	16	火	教育相談② 心臓検診(午前 1年・職員)	45分	
4	17	水	甲種職検模擬(6/7限) 教育相談③ 検尿一次	45分	
4	18	木	創立記念式典・記念講演会 週番引継会	45分	
4	19	金	甲種職検		
4	20	土	進研記述(3年)		
4	21	日	進研記述(3年)		
4	22	月	学年朝会① 教育相談④ いじめ問題を考える週間(～4/28) いじめ問題を考える特設LHR・SNSチェックシート	5分遅 45分	
4	23	火	新体力テスト・身体測定(2年:5～7限) 教育相談⑤	45分	
4	24	水	新体力テスト・身体測定(1年:5～7限 3年:3,4限) 検尿一次 教育相談⑥	45分	
4	25	木	中掃除 教育相談⑦ 週番引継会	45分午後10分遅	
4	26	金	一日遠足		
4	27	土			
4	28	日			
4	29	月	昭和の日		
4	30	火	教育相談⑧ 内科・歯科検診(午後 年)	45分	

↑発行時の予定です。変更にご注意してください。

そもそも学校教育の中で、なぜ清掃という行為があるのだろうか。その起源について、まず柔道や剣道などの「道」の存在が言われている。道の世界では場をきれいに保つことをとても大切に、稽古の前には必ず道場を掃除することで心を磨くとされている。また、仏教の存在もあるようだ。仏教の修業は「一に作務、二に修行、三に学問」といわれており、一の作務の代表的なものが掃除のようである。修行においては、経を読んだり勉強をしたりするよりも、掃除の方が優先順位が高いということのようだ。このように考えると、日本には昔から「清掃による人格形成・社会性の育成」という精神性が根付いており、それが今日の学校教育における清掃活動に繋がっているのかもしれない。

この春、30名の先輩たちがこの学舎から巣立っていった。入学してから三年間、仲間や先輩・後輩、先生方とともに学び、語り合う中で、どのような夢を育んできたのだろうか。

3月10日までで今年度の大学入試前期試験の結果がすべて発表された。今年度も東京大学、京都大学、一橋大学、東京工業大学をはじめ多くの大学に合格した。正式な最終結果は、進路指導課からの発表を待つてほしい。結果だけがクローズアップされがちだが、学受験であるが、一人一人の受験生が合格に至るまでの道のりは決して平坦ではなかったであろう。多くの悩みや不安、葛藤があり、それらに打ち勝ち、志望校受験に臨むために、それなりの準備と決意が必要であった。そのような学力やメンタリティは一朝一夕に作られるものではない。先輩たちも、やはり一、二年次からの日々の努力の積み重ねが大きな支えになったにちがいない。そして、志望校への思いの強さもまた、数々の試練に打ち勝つ大きな原動力となったであろう。

今年の受験生の中で印象に残っている生徒がいる。ある日唐突に「自分が本当に行きたいと思える大学が見つかりました」と涙ながらに話をしてくれた。その大学のことを調べるうちに魅力が深まり、入学したいという一心で過去問演習を重ねる中で、自分の中にある「本当の」思いに気づくようになった。そう、それまでは別の大学を目指していた、将来就きたい職業や、進学先についてずっと悩んでいた生徒であった。

大学受験のように、自分自身と深く向き合う機会というのは人生で何回もあるわけではない。向き合ったとしても、自分の本音に気づくのはなかなか難しいことである。この生徒のように自分が「本当に行きたい大学」や「やりたいこと」を見つけた人は、幸運だと思える。しかし仮に見つけられなかったとしても、自分自身と向き合うということを重ねてきた経験があるのとは、その後の生き方も大きく変わってくるのではない。鶴丸生の日々の生活というのは、生半可なものではないと思う。しかし、忙しきだけで高校3年間を終えるのはあまりにも勿体無い。人と交わり、勉学に動かし、部活動や生徒会活動などを通して自己を磨き、「一生懸命さ」の先に拓かれる道もあるだろう。そして時折、少し歩みを緩めて、自分の心の声に耳を傾けてみるのもいいだろう。「行きたい大学に行くことが大切ですよ。」進学した先輩たちがよく言われる言葉である。志望校への思いの強さ、そしてあきらめないことの大切さを教えてくれる言葉である。

今年度最終号に際して、英語科の上村英治先生に随筆を寄稿していただきました。

忘れ得ぬ言葉

英語科 上村 英治



それから十年余り後に入学した私は、まったく凡庸の徒であった。先生には二年生のとき古文の授業を受けたが、よく居眠りをしてきた。あるとき、徒然草の「仁和寺にある法師」のくだりだったと思うが、いつものようにコクリコクリとしていた。すると、先生が私の傍らを通り過ぎながら、「上村さん、眠たいですか」と声を掛けられたのだ。よほど見かねてのことだったのだろう。

数年前から音楽を習い始め、覚えた曲をCDに簡易録音してみた。そして、近況報告に代えて友人や知人に送って、聴いてもらうことにした。中馬先生にも送った。

CDを送って間もなく先生からお礼の便りをいただいた。便箋用紙五枚の手紙の冒頭に「毎晩、いただいたCDを聴いています。選曲もよく、聴けば聴くほど味が出ます」と書かれていた。ただ、先生はこれまでに教えた数多くの生徒のことをすべて覚えてはいるはずはない。まして、私のような怠学の生徒はなおのことである。

「ところで、私を思い出して送ってくださったことには感謝あるのですが、いったいどういったご縁で送らしたのか?」そして追伸にも、「ほんとはあなたといつ何処でお会いしたのでしょうか。あなたは何回卒でいらっしやいますか?」と、念を押されていた。

「上村さん、眠たいですか」という言葉と、「あなたといつ何処でお会いしたのでしょうか」という言葉には、先生の優しくほのぼのとした人柄が重なり、快い旋律のように私の心に響いている。

令和6年度 教職員定期人事異動発表

令和6年度の鹿児島県立鶴丸高等学校教職員定期人事異動が発表されました。先生方、長い間本当にお世話になりました。新天地での御活躍を祈念しております。

氏名	教科等	転出先等
前田 光久	校長	再任用退職
山田 小百合	国語	大島高校
銚谷 寿一	地歴公民	川内高校
若松 志保	書道	国分高校
伊地知 真	英語	甲南高校 教頭
上野 久美子	英語	川薩清修館高校
柳 正和	事務次長	屋久島高校 事務長
前原 一陽	事務主査	志布志市立伊崎田小学校